

伊

議会だより

しぜん



さとうきび夏植付け拡大推進中
仙町糖業振興会



第67号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 ㈱奄美新社印刷

夏植え出発式

令和2年8月6日(木)

役場庁舎前

令和2年第2回定例会(6月9日~12日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		杉山肇	牧本和英	西彦二	佐田元	清平二	岡林剛也	牧徳久	上木千恵造	永田誠	福留達也	前徹志	横山一	美島盛秀		明石秀雄
同1	伊仙町農業委員会委員の任命の同意	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	—	同意
議37	伊仙町過疎地域自立促進計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	原案可決
議38	伊仙町辺地総合整備計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議39	伊仙町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議40	伊仙町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議41	伊仙町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議42	伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	—	原案可決
議43	伊仙町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議44	伊仙町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議45	令和2年度伊仙町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議46	令和2年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議47	令和2年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議48	令和2年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
陳3	町道木之香糸木名線の改良に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
陳4	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
発1	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2021年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決

【表の見方】 議：議案 同：同意 陳：陳情 発：発議 ◎：全会一致 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：表決権なし

※明石秀雄議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

令和2年 第2回定例会

一般質問



徳久議員 牧

ハーベスター利用料助成の早期支給を

問

令和元年第4回定例会において質疑を行い、町当局は理解を示していただき令和2年度当初予算で助成費の一部約2500万円は計上されているが、今期の製糖も終了し各町別の生産量も確定しており、今後これを精査し不足分の予算を計上した上で早急に支給することで農家の負担軽減になると考えるが、

町長の見解を問う。

答

(町長)

ここ30年ほど国の交付金も停滞し、さらに肥料や資材等は高騰、反収もなかなか上がらない状況が続いていることから、伊仙町では今回さらに2500万円を加え合計5000万円を予算計上している。具体的な詳細については今後協議し確定次第対応していきたい。

仔牛価格の暴落に対する助成について

問

新型コロナウイルスの影響を受け、5月セリでの仔牛価格が10〜20万程度下落していると聞かすが、対策は考えられないか問う。

答

(経済課長)

2点ほどの補償制度があり、①肉用子牛生産者補給金制度で、四半期ごとに農林水産大臣が告示する肉用仔牛の全国平均が補償基準価格(514,000円)を下回った場合に交付される制度。②現在国会で審議中の肉用仔牛生産の奨励金制度で、全国平均価格が60万円を下回った場合に1万円、57万円を下回った場合に3万円の奨励金を支給する制度がある。

闘牛飼養者への支援は

問

緊急事態宣言による自粛要請を受け、5月の闘牛大会が中止となり、10月

大会も危ぶまれ、牛主は苦慮していると考えられる。町の指定文化財でもあり何らかの支援策は考えられないか問う。

答

(きゅらまち観光課長)

この件に関しては、現在3カ町で検討中であり、徳之島闘牛連合会伊仙支部とも協議し前向きに検討していきたいと考えている。

小原開発について

問

この件については、平成26年第2回定例会、その後も何度か一般質問を行い、また住民から議会へ請願も提出され採択している。

これらを踏まえ、町は当初予算で用地調査費を計上しているが、今後どのように進めていくのか。また、国立公園第一種地域のため環境省等との協議も必要と思われるが同時並行して進めているのか問う。

答

(きゅらまち観光課長)

小原海岸一帯は、平成29年3月に国内34番目の国立公園第一種地域に指定され、自然公園法に基づく申請が必要であることから今年度、環境省徳之島管理事務所と協議を重ね進めていく。

また、令和3年度に観光拠点連携整備事業を活用し整備を行えるよう要望している。計画としては、令和3年6月から8月に土木測量、建築設備設計、地盤調査を行い令和3年9月から令和4年2月頃にかけて休憩施設の整備を実施する予定となっている。



小原海岸下り口



美島 盛秀議員

平成30年度ブロック塀・冷房設備対応臨時交付金で実施された町内小中学校の空調設備設置工事について

問 当該工事は、明許繰越予算であったが、入札が大幅に遅れており、令和元年第2回定例会及び第3回定例会の中でも早期実施を指摘したが、記憶にあるか問う。

答 (教育長) 大幅に遅れていることは認識していたし、指摘された事も記憶にある。

問 令和元年6月26日に(株)環境建築研究所と9月

13日までの工期で設計委託契約を締結。その後10月18日まで工期が変更され、設計に4カ月も要している。11月14日には指名委員会を行い、12月3日に町外業者だけを指名して入札を実施。結果は鹿児島市内の(株)栄電社が2件とも落札。入札にも問題があり、2中学校、6小学校の契約書では契約日も違うがその理由を問う。

答 (教委総務課長) 中学校の仮契約については、議決案件ではないため12月6日に契約した。議決案件である小学校分については、推測だが

受注業者の理由により遅れたのではないかと考えられる。

問 当時議長だった私は、入札に問題があると思っており、この案件は精査する必要があると考え、議長の辞職願を提出し認められたため、採決にまわり、結果として小学校分の工事請負契約は否決された。否決理由は、地元業者を指名せず、入札に参加せなかつた事。

その後、12月20日に指名委員会を行い、地元業者が4業者いたにも関わらず、なぜ2業者だけを指名して再入札をしたのか問う。

答 (副町長) 工期を考慮した時、大手業者でなければ難しいと指名委員会で判断し本土業者だけを指名し入札を行ったが否決となったので、その後業者の指名替え、工区を分割し再入札を行った。

問 入札が大幅に遅れた中で工期が心配であったが、新型コロナウイルスによる休校で工期に間に合ったと言っていた関係者もいたが、入札が遅れたのは職員の職務怠慢ではないか問う。

(教委総務課長)

答 私が別の部署に在籍していた時に、繰越事業ということは存じていた。また、このような事は今後あってはならないと考える。

問 他町では、早い時期に発注し夏休みや土日を利用して地元業者のみで11月頃には完成しているが、伊仙町は年度末の3月23日に完成検査を行っておりまともな工事であると思えない。各学校によって工事内容が違っているが設計書、仕様書、内訳書等を比較して検査をしたと自信を持って言えるのか問う。

(教委総務課長)

答 請負業者や工事監理者の下で書類検査及び

現場確認検査を町担当職員が行っていると思いますので、順当だと考えている。※最後に、この工事については、まだまだ問題があると考えられますので、今後さらに精査をしていきます。



空調設置工事の現地調査のようす



佐田 元議員

新庁舎建設計画について

問 建設候補地が旧農業高
校跡地から現庁舎裏に
変更となった理由を問う。

答 (総務課長) 当初の基本構想、基本
計画の策定の際に現
庁舎敷地が狭いというこ
とで、現庁舎場所と農高跡地
と両方を想定し計画してい
た。その中で旧農業高校跡
地に建設した方が便利では
ないかとの意見も多かった
が、検討委員会を重ねてい
く中で用地が確保できるの
であれば、現庁舎敷地への
建て替えが望ましいとの合

意から答申をまとめた。ま
た、アンケート調査におい
ても、起債を活用し早急な
建て替えを望むとの意見が
70%を占めていた。

明した所ではあるが、町民
の皆様に對しては、現在コ
ロナ禍ということで、大勢
を集めて住民説明会等が開
催できないため、今回6月
の広報誌にも今後の計画等
を掲載している。また、今
後状況を見極めながら、説
明会を開いていくという方
向性で進めていく。

**町内小中学校空調設備設
置工事について**

問 各学校で工事設計が違
う理由を問う。

答 (教委総務課長) 各学校の形状、方向、
教室規模の違いによつ
て設計は変わるものだと考
えている。

問 学校の形状、方向、規模
が違うのは分かるが、
先日の現地調査で見たとお
り、犬田布小は外の配線がむ
き出し状態であった。犬田布
小も伊仙小のように見栄えの
良い設計で工事できたので
はないか問う。

答 (総務課長) 3月の第1回定例会に
おいても進捗状況を説

(教委総務課長)

答 確かに犬田布小は配線
が露出していたが、当
初の設計段階でそのような
状況だったことは認識して
いる。今後このような場合
においては、職員の方も設
計図面を見ながら今回のよ
うな事がないよう進めてい
きたい。

問 完成検査は、いつ誰が
どのような方法で実施
したのか問う。

答 (教委総務課長) 令和2年3月27日に、
教育委員会の担当職
員、担当課長。あと請負業
者、工事監理者の立会いの
下、書類検査及び現場確認
検査ということで、各設置
教室の設置状況の確認、作
動検査、室外機の設置状況
確認、作動確認を行ってい
る。

問 同じく現地調査を行っ
た阿権小について、予備
として外線が引き込まれてお
り、今あるメーターは取り外

し、新しいメーターを取付け、
引き込みをするとの事であつ
たが、果たしてあれが完成と
言えるのか問う。

(教委総務課長)

答 現地調査でも説明をし
たとおり、九電と受注
業者のやり取りの中で、以
前は申請用紙で申し込みが
できたが、現在はインター
ネット受付となっているた
め、複雑化されており、遅
れが生じたとの話であつ
た。教育委員会としても、
受注業者の方へ、今後同様
なことが起きないようにと
いう事で申し入れを行つ
た。



空調設置工事の現地調査の様子



福留 達也議員

**東伊仙義ノ津沢の防災工
事について**

問 工事は鹿児島県と伊仙町が行う部分に分かれているが、それぞれの予算額、工事内容、工期について問う。

答 (耕地課長) 県の工事に関しては、予算額6,000万円、県道から海岸側の暗きょうの排水路を施行しており、7月中の完成予定となっている。

町の工事としては、予算額5,200万円の当初予算より増額するものと思われ、

れる。工事内容は、県が施行した暗きょう排水路の下流部分の暗きょう120mの取付け工事、その後の流末部分20mの素堀り工事であり、工期は来年8月を予定している。

問 現在の工事箇所より上流部分の側溝は、これまで長年様々なゴミが蓄積され、機能していない箇所があるが、これらの対応を問う。

答 (耕地課長) 上流の畑に関しては、雨量が増えると流され、ため池状態になること

は認識している。梅雨が明け、重機が入れるようになり次第、蓄積されたゴミや泥等の撤去作業を進めて参りたい。



今年度工事予定の東伊仙「義ノ津」

要望 当該箇所は、これまで台風や大雨の度ごとに道路が冠水し危険な状態となり、通行止めを繰り返していた場所でもある。これまでで予算や地権者の関係等、様々な障害で、なかなか解決に至らなかった場所であり、今回多くの関係者

の努力によって解決の方向に向っている。ぜひ工期内に確実に工事を終了できるように強く要望する。

新型コロナウイルス対応は

問 現在のところ、徳之島島内においては住民の努力や来島者の自粛協力等により発生は防げているが、今後島内において感染者が発生した場合の対応や対策を問う。

答 (総務課長) 島内において発生した場合、医療機関が崩壊に陥る可能性が高く、徳之島3カ町共に対策本部を立ち上げている。

健康増進課長 感染者が発生した場合、保健所のほうで移送し、自衛隊または海上保安庁のヘリコプターで鹿児島市内の指定医療機関へ搬送することとなっている。また一時的な対応場所として、喜念浜バンガローや伊仙町総合体育館を想定し進めている。

問 国民1人当たり10万円が支給される特別定額給付金の給付実績を問う。

くらし支援課長

答 6月9日時点においての申請者3,487世帯中、3,243世帯への給付が行われている。

問 人や物の流れが正常になるための、国や県による支援策が地元にも波及するまで、各市町村には独自の生活応援、雇用経済対策等、きめ細やかな支援策が求められているが、伊仙町独自の支援策を問う。

答 (総務課長) 現在、本町においては事業所支援という事で県知事からの要請を受けて営業を自粛した事業者に対し10万円の給付のみであるが、今後国の動向や第2波、第3波による感染の広がり等を考慮しながら各種支援策で対応していきたい。



前 徹志議員

水道行政について

問

阿三集落の水道水は、雨天時に濁りがひどくても飲める状態でないのが現状であるが、その事を認識し、対策を講じる考えはないのか問う。

(水道課長)

答

まず、阿三集落の皆様には多大なご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。

原因として、原水の濁りがひどく、ろ過できていない事や管路の状態が良好でない事等が考えられる。対策として、急速ろ過機より前処理水

をろ過し給水する事や、豪雨時などの際には、ろ過速度をゆっくりとし対応している。

問

阿三集落には昭和38年に布設された水道管が点在しているが、水道課として把握できているのか。また、浄水場は阿三集落にありながらそのような状態では集落住民も納得できないのは当たり前である。早急に抜本的な改修を行い安心・安全で蛇口からそのまま水が飲めるようにする考えはないのか問う。

(水道課長)

答

老朽管が点在している事は把握しているが、

具体的な年数としては認識できていなかった。また、今年度の布設工事は既に予定が決まっているため、次年度(令和3年度)に阿三地区の管路を最優先で布設していきたい。



中部浄水場

農業政策について

問

県営畑総伊仙中部地区の農業用水(スプリンクラー)が使用できない箇所があるが把握できているのか。また、今後の対応策を問う。

(耕地課長)

答

受益者より経年劣化による破損やハーベスター収穫時による破損、盗難されている箇所もあるとの問い合わせを受けている。スプリンクラーについては、あくまでも受益者管理となることから、受益者が購入するとすると1本17万円を越す金額となる。

スプリンクラーの立っていない箇所の基本料金等の負担



スプリンクラーによる散水の様子

については、今後理事会や総代会を開催し取扱いを決めていくとともに、キビ収穫後の検針時に調査し把握していきたいと考えている。

問

畑総事業によって整備された町有地があると思われるが、どのくらいあるのか。また、今後の管理について問う。

(耕地課長)

答

畑総内の町有地について、現在把握できている分として、伊仙東部地区で6カ所、伊仙中部地区で28カ所、第二三崎地区で110カ所程度ある。現在、航空写真及び図面で現況を確認し、その地番についてまだ町有地かどうかを調査しており、調査が終了次第現況の耕作者への聞き取り等をおこない、払い下げをする方向で町の財産管理担当と協議していきたい。

要望

現況の耕作者ともしつかりと協議をし、トラブル等がないように町有地管理を徹底していただきたい。



永田 誠議員

役場窓口業務について

問

町営住宅入居申し込み、保育所入所申し込みや各課の事業等にて必要な納税証明書の発行業務について簡素化ができないか問う。

答

(くらし支援課長)

多期にわたってシステム管理や、帳簿で管理しているものがあり、現時点では1カ所で証明を取るといふ環境は整っていない。しかし対応策として、保育所申し込み等まとまったものであれば、申請者に同意書を貰い、役場内で各課調査を行い、発行出

伊仙町総合グラウンドの管理状況について

問

西側トイレの管理状況及び令和2年度当初予算に計上されている「特定地区公園整備事業」の遊具設置について問う。

答

(社会教育課長)

グラウンド西側のトイレは故障が多く、その都度修繕して利用しているが、かなり古く将来的には解体し、管理棟トイレのみの利用になる予定である。また「特定地区公園整備事業」はテニスコート上段部分を公園に改修し、今年度完成予定であり、遊具は、アスレチック遊具を設置する。

町有地の管理について

問

喜念団地に隣接する町有地について、今後どのような土地活用を行っていく予定か問う。

答

(町長)

この町有地に関しては、以前から住宅という形で考えている。町営住宅にするか、阿三にあるような民間資金を活用したPFI事業のような形にするか検討する必要がある。コロナの影響もあり、都会から地方への人口の流れが出てくると専門家が言われる中で、島外、町外にいる

方々を優先に入居できるような形にしたいと考える。

(建設課長)

答

平成28年に町営住宅2棟6戸を建築し、その段階で住宅用地として活用することとして造成している。令和3年度に設計委託、令和4年度に建築を予定している。

喜念小学校建て替えについて

問

老朽化に伴う喜念小学校の建て替え計画について、現在の進捗状況と今後の計画について問う。

答

(教委総務課長)

今年3月18日に伊仙町学校建築委員会が開催され、校舎建築のスケジュール案について協議を行った。予定では今年度基本計画、次年度基本設計、令和4年度工事着手予定である。今後地域住民、学校、PTA、有識者等で校舎建築委員会を立ち上げてもらい、あらゆるサポートはしていきたい。

(町長)

答

老朽化が激しい学校からというところで喜念小学校からと優先順位をつけた。その他、施設修繕や改善の要望はあるが知恵を借りながら、教育委員会と連携を取り、安全な伊仙町の姿を作っていく。



喜念小学校



西 彦二議員

新型コロナウイルス対応について

問 特別定額給付金給付事業の申請及び支給状況を問う。

(くらし支援課長)

答 6月9日現在で、3,243件の申請があり、内訳として郵便申請2,161件、窓口及び義名山体育館でのドライブスルー申請合わせて1,082件となっている。未だ申請ができていない方や高齢者の方々、不在により申請書が戻ってきた分については調査中であり8月31

日まで全ての町民に対応できるよう努めていきたい。

問 町内における事業者向け持続化給付金の支給状況について問う。

(きゅらまち観光課長)

答 町内事業所30店舗が対象となっており、現時点で11件が支給済みである。

要望 老人ホーム入所や医療機関での入院、都会への療養等で自宅不在の方々の申請漏れが無いよう進め

ていきたい。

農業政策について

問 令和1・2年度の製糖を終え、当初予定していた計画より下回った収穫量の原因と今後の課題について問う。

(経済課長)

答 徳之島さとうきび生産対策本部において今期収穫についての現状分析に基づく対策の検討を進めている。

農家の高齢化、小規模農家の適期管理不足による反収減が影響し収穫後の早期株出し管理を中心に推進する体制を構築していきたいと考えている。

問 令和2年度予算で計上されている「さとうきび生産継続支援事業給付金」について、どのような形で農家への支援を行っていくのか問う。

(経済課長)

答 さとうきび生産振興に資する用途として活用

していただきたい。7月下旬より薬剤購入助成や夏植えの種苗の植え付け等の助成が始まるが、助成を活用し夏植えの推進を進めていきたい。給付金は農協へ委託し、7月下旬を目途に進めている。

給食費の無償化を

問 町内8小学校の全児童数467名。3中学校の全児童数206名で合計673名であるが、小学校・中学校それぞれの1人当たりの年間の給食費はいくらかかるのか問う。

(給食センター所長)

答 一食当たり小学生が165円、中学生が185円となっており、月計算すると3,200円から3,600円。年間では夏休み期間を除く11カ月分が負担分となる。全ての児童生徒の給食費を無償化にすると、新たに年間約2,600万円の財源が必要となり、町当局との協

議が必要である。

要望 本町は、「長寿・子宝のまち」として掲げており、若い世代の方々も働きも多く、将来を担う子ども達の為にも給食費の無償化に向けた予算化が必要であり、子ども達を優先して一日も早い実現化を要望する。



学校給食センター



清 平二議員

有害鳥獣対策を

問 有害鳥獣による被害状況は把握できているのか。また、年々増加している被害に対し、対策は考えているのか問う。

答 (経済課長) 有害鳥獣については、町民からの連絡があった場合、その都度猟友会へ依頼をし捕獲や追い払い等の対策を行っているが、住民自ら対策をしている場合や、役場への連絡が無い案件については、現状把握が困難であるのが現状である。令和元年度のイ

ノシシの捕獲数として、成獣152頭、幼獣6頭で前年と比較しても3倍以上の捕獲数となっている。

問 この件に関しては令和元年第3回定例会の中でも一般質問を行い、その際も答弁の中で、3町で協議会を設置するとの事であったが、今後の対策について問う。

答 (経済課長) 対策について、まず今年度徳之島で開催される狩猟免許取得の講習会受講料に対する補助と鳥獣被害防止対策推進事業での狩猟研修費

用の費用弁償日を2名分計上している。

新型コロナウイルス感染症による影響は

問 伊仙町内の新型コロナウイルス関連による被害額は把握できているのか問う。

(健康増進課長)

答 ほんらい館に関し、3月に一旦休館したが、学校の再開も決まったことから3月26日から30日までの5日間は営業した。その後、感染対策の強化が必要となり、3月31日から5月14日までの約2カ月半の休業を余儀なくされた。この間の収益として会費や都度利用、プール教室のレーン貸出し収益を含めると約880万円の減収となる。また、休業したことによる燃料費や光熱費等で約370万円の削減ができていたが、差額として約510万円の収益減となっている。

徳之島交流ひろば農林水産直売所百菜について

り町内小売店の売上げが大幅に落ち込んでいる。また、飲食店に關しても前年比約8割の売上げが減少している状況である。この件に関しては、5月の第2回臨時会において承認いただいた地方創生臨時交付金を活用し、県の休業要請、時間短縮要請に応じた事業所30店舗を対象に一律10万円の支給を行っている。また、被害額に關しては、確定申告がなされないと把握が困難であり、町としてもできる限りの支援を行ってまいりたいと考えている。

問 令和元年第4回定例会及び令和2年第1回定例会において予算計上された損失補填金の支払いはされたのか。また、令和2年度からの施設賃借料はどのような扱いとなっているのか問う。

(経済課長)

答 (経済課長) 損失補填金の支払いはされていない。また、施設賃借料については、コロナの影響により指定管理者が来庁できず未だ協議がされていない状況である。

(副町長)

損失補填金については、再度精査が必要ということで、予算の執行を停止している。今後の対応については再度協議していきたい。



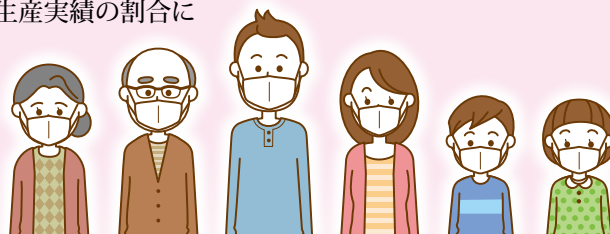
農林水産直売所「百菜」

伊仙町新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業一覧(第1次交付分)

「さとうきび生産継続支援事業」

令和1/令和2年産の対象生産数（50,191t）に対し、生産実績の割合に応じて単価500円/tが助成される。

対象/さとうきび生産農家
予算額/25,000千円



「コロナウイルス感染症予防事業」

感染症予防と感染拡大防止のために全町民へのマスク支給。また、台風襲来時における避難所（4カ所）での感染防止のためのパーティション、公衆浴場や介護予防教室にて使用する消毒液や手袋等の衛生消耗品を購入。

対象/全町民・避難所（4カ所）・介護予防教室
予算額/5,636千円

「コロナ対策協力給付金給付事業」

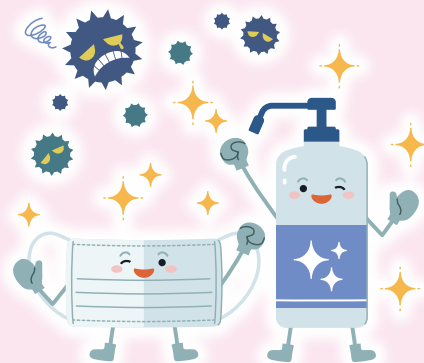
感染症感染防止拡大のために県より休業協力要請に応じた町内事業所へ追加で定額給付金（1事業所/10万円）が支給される。

対象/町内事業所
予算額/3,000千円

「軽症者避難施設整備事業」

町内にて軽症者が発生した際に宿泊所として借上げる施設の整備や施設で使用する消毒液等を購入。

対象/町内施設
予算額/3,500千円



「映像産業を軸とした観光・産業振興と地域ブランディング事業」

国指定の史跡や天然記念物を3カ所も有する伊仙町で、縄文の時代から続く島の暮らしを物語る史跡や自然地形、景勝地、その他観光資源を映像化し、観光目的の移動がままならない時期にも地域の魅力を発信する映像コンテンツ制作委託料。

予算額/5,000千円

「図書館パワーアップ事業」

突然の休校措置などで自宅学習を余儀なくされる子ども達を中心に、地域の人々が身近で本に触れる機会を創出し、外出規制による制限を少しでも緩和するため、移動図書館車両を購入し屋外での図書貸出し及び返却を可能にする。

対象/全町民
予算額/9,000千円

「社会システム維持のための衛生確保事業」

町民の交流施設やほーらい館内で感染等が発生した場合、速やかに消毒作業や清掃を実施するための必要な体制を構築する。またコロナ関連避難所2カ所と併せてゴミ収集や清掃を行う際の軽トラック1台を購入。

予算額/1,500千円

「伊仙町テレワーク環境・サテライトオフィス整備事業」

コロナ禍で働き方改革を迫られた企業の課題解決の受け皿となるサテライトオフィス及びワーケーションの場を提供する。また、多世代向け学びの場、自学自習スペース、コワーキングスペースを提供し、老若男女、U I ターン者を含む地元住民に対して地域雇用の担い手として人材育成を行う。

あらゆる世代が仕事や学びに活用できる環境を整備し、伊仙町総合戦略の柱であるU I ターン施策を促進し、「生涯活躍のまちづくり」構想を加速させることで全国離島モデルを構築する。

内訳/物品購入・改修工事・構築運営システム導入委託費
予算額/22,758千円

議会の動き

令和2年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)
 動静期間: 令和2年第2回定例会(3月25日)以降の分

月	日	行事名	場所
令和2年4月	7日	第53回戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭(神事のみ)	犬田布岬
	23日	防犯組合連絡協議会会計監査	徳之島警察署
	24日	瀬田海海開き(神事のみ)	瀬田海公園
令和2年5月	7日	令和2年第2回臨時議会告示	
	11日	令和2年第2回臨時会	議事堂

月	日	行事名	場所
令和2年6月	1日	令和2年第2回定例会告示	
	4日	議会運営委員会 (第2回定例会議事日程等)	委員会室
	9日	令和2年伊仙町議会第2回定例会開会	議事堂

※掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

次回の定例会は9月です!

※議会傍聴に関するお願い(新型コロナウイルス感染症対策)

令和2年第3回定例会は、9月8日(火)からを予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、伊仙町議会では議会傍聴について、次のとおり対応いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 密集・密接を避けるため、傍聴を制限させていただく場合があります。
- マスク着用(※各自で持参)をお願いします。
- 手洗い、手指の消毒を徹底してください。
(傍聴席入口に消毒液があります。)
- 咳エチケット、間隔を空けての着席にご協力ください。



※当日、熱(37.5度以上)のある場合や、体調不良(だるい、咳が出る等)の場合は傍聴をお控え下さい。

なお、第3回定例会におきましても、「YOU TUBE LIVE」でのライブ中継や録画映像をご覧ください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。 電話 86-3111 (内線16番)



編集後記

残暑の候、町民の皆様におかれましては毎日のお仕事お疲れ様でございます。長かった梅雨がやっと明けた途端に猛烈な暑さとなり、「コロナ対策のマスクや換気もしなくてはならず、今年の夏は例年以上に暑さが身にしみます。

連日テレビや新聞報道では、新型コロナウイルスのニュースで明け暮れ、今後の見通しも極めて不透明な状況が続いており、今後さらに各自治体独自の対策や住民への行き届いた支援が非常に重要であると考えます。

6月の第2回定例会においても多くの議員より、「コロナ対策関連の一般質問がありました。我々議会としても引き続き積極的に執行部と政策論議を交わし、「町民第一のまちづくり」を目指してまいります。」と述べております。

つい先日、今年の「ほーらい祭」や「町民体育祭」の開催中止が決定され、楽しみにされていた多くの方々には暗いニュースが続いておりますが、町民一人ひとりが今後の感染症対策のために、「自粛」から「自衛」への取組みに切替え、これからの暑さに負けない体力を養い、この難局を乗り越えていきたいと思います。

(文責 前 徹志)

議会広報編集委員会



- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 前 徹志 |
| 副委員長 | 杉山 剛也 |
| 委員 | 岡林 剛也 |
| 委員 | 上木 千恵造 |
| 委員 | 佐田 元 |